

平成２２年 第３回印西市地域公共交通活性化協議会 会議録

- 1 開催日時 平成２２年７月２８日（水） 午前９時３０分から
- 2 開催場所 印西市役所 会議棟２０４会議室
- 3 出席者 大瀧洋会長、上條公司副会長、遠藤和孝委員
戸村静夫委員、津留崎隆史委員、小関征二委員
小林久男委員、瀬戸雅一委員、日比生則子委員
唐澤隆治委員、石井隆委員、豊泉達樹委員
林競委員、佐藤信之委員、齊田育男委員、木村節委員
稲葉東治委員
- 4 欠席者 成田斉委員、根本久子委員
- 5 事務局等 企画政策課 浅倉課長、酒井室長、飯島主査補
石鍋主事補
株式会社長大 本多、田端
- 6 傍聴者 ０名
- 7 内容
 - ①新委員の紹介及び委嘱書の交付
 - ②議題
 - （１）連携計画策定に向けた調査の進め方及びスケジュールについて
 - （２）地域公共交通の現状報告について
 - （３）住民アンケート素案について
 - ③その他

（事務局進行）

会議に先立ちまして、資料の確認をさせていただきます。資料につきまして
は、先に、各委員の皆さまにお送りしております資料と本日追加させていた
だいております資料がございます。お手元の資料ですが、

- 会議次第
- 席次表
- 委員名簿
- 第２回の会議録
- 資料１ 連携計画策定に向けた調査の進め方及びスケジュールについて
- 資料２ 現状把握
- 資料３ アンケート調査
- ふれあいバス運行ルート図

資料の不備はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日は、たいへんお忙しい中、平成２２年第３回印西市地域公共交通活性化協議会にご出席くださりまして、誠にありがとうございます。

申し遅れましたが、本日の進行をつとめさせていただきます、印西市企画財政部企画政策課交通政策室長の酒井です。よろしくお願いいたします。

なお、本日、根本委員と成田委員におかれましては、所用のため、欠席されております。本日の会議でございますが、「当協議会規約第９条第４項の規定に基づき、公開とさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

また、関東運輸局企画観光部交通企画課の方がおいでいただいておりますので、ご了承願います。

なお、本日会議の傍聴でございますが、傍聴の申出がありませんでしたので、ご報告いたします。

それでは、改めまして、平成２２年第３回印西市地域公共交通活性化協議会を開催させていただきます。

それでは、はじめに当協議会の会長であります、大瀧会長よりごあいさつ申し上げます。

（大瀧会長あいさつ）

本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして大変ありがとうございます。今回新たに２名の委員の方の交代がございますので、改めまして当協議会の目的について触れさせていただきます。この目的はバス等の地域公共交通の活性化再生を図り、当市における地域公共交通の将来のあるべき姿を審議し、地域公共交通総合連携計画を策定することです。少子高齢化や地球温暖化問題を踏まえ、今後の地域公共交通の役割は非常に重要であります。よりよい総合連携計画が策定されますよう委員の皆様の貴重なご意見を頂戴したいと考えております。よろしくお願いいたします。

（事務局進行）

つづきまして、新委員の紹介及び委嘱書の交付をさせていただきます。

はじめに、北総交通株式会社では７月１日付で役員の交代がありました関係で、北総交通株式会社代表取締役社長の唐澤様を７月１日付で、新たな委員として委嘱させていただきました。

また、関東運輸局千葉運輸支局の奈良委員につきましても、７月１日付で人事異動がありました関係で、関東運輸局の斎田様を７月１日付で委員を委嘱させていただきます。

それでは、委嘱書を交付させていただきます。本来であれば、市長から直接、委員の皆さまに委嘱書をお渡しすべきところでございますが、本日、市長は所

用により出席できませんので、大瀧会長の方から、委嘱書を交付させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

なお、任期につきましては、当協議会規約第8条第2項の規定によりまして、前任者の残任期間である平成23年7月26日までとなりますので、よろしくお願いいたします。

(大瀧会長が、委嘱書を交付)

(事務局進行)

つづきまして、去る7月5日に実施されました印西市地域公共交通総合連携計画策定調査業務委託に関するプロポーザル審査委員会の審査結果につきまして、事務局よりご報告させていただきます。

(事務局)

7社に対してプロポーザル参加依頼をし、5社から参加表明がありました。5社の企画提案に対して厳正な審査の結果、株式会社長大が選定されましたのでご報告します。

(事務局進行)

ただいま、事務局より、プロポーザル審査委員会の審査結果につきまして説明がありましたが、ご質問等はございますか。

(特に質問等なし)

(事務局進行)

それでは、議題に入らせていただきます。

以後の進行につきましては、当協議会規約第9条第1項により会長が議長となりますので、大瀧会長にお願いします。また、当協議会会議運営規程第3条第2項の規定により、会長が議事録確認者を指名することとなっておりますので、本日の議事録確認者の指名をお願いします。

(会長)

それでは、議長を務めさせていただきます。なお、本日会議の議事録確認者については、上條委員を指名させていただきますので、よろしくお願いいたします。

【議題 1】連携計画策定に向けた調査の進め方及びスケジュールについて

(会長)

それでは、議題（1）連携計画策定に向けた調査の進め方及びスケジュールについて、説明をお願いします。

(事務局より、資料 1 により連携計画策定に向けた調査の進め方及びスケジュールについて説明)

(会長)

ただいま、連携計画策定に向けた調査の進め方及びスケジュールについて説明がありましたが、ご質問等がありますでしょうか。

(委員)

資料 1 ですが、基本的にはバスに関する調査ですが、需要調査の中で徒歩・自転車利用に関しては、どのような調査の予定でしょうか。

(事務局)

アンケートの中で「家を出てから目的地までどのような手段で行きますか」という質問項目を設けます。この中で自転車に対するニーズ、自転車利用のご意見もアンケートの中で組み入れて考えていきたいと思っています。

また、市でレンタサイクルを使用した実験をしますので、この結果も参考にできればと考えております。

(委員)

自転車の社会実験は 8 月 11 日から 11 月 7 日までの間で実施します。木下駅 20 台、ニュータウン中央 30 台、西の原 30 台を配置して実施します。

(会長)

他に、ご質問等がございますか。後ほどまとめてご質問いただいても結構ですので、次の議題に移らせていただきます。

【議題】（2）現状把握について

(会長)

つきまして、議題（2）現状把握について説明をお願いします。

(事務局より、資料 2 により現状把握について説明)

(会長)

ただ今、現状把握について説明がありました。ご質問等がありますでしょうか。

(委員)

ふれあいバスの利用状況で平日と土曜日の違いはどのようなものでしょうか。

(事務局)

現在、ふれあいバスは月曜から土曜日まで運行しておりますが、平日に比べ土曜日は 2～3 割ほど利用者が少ない状況です。最近ではこの差が徐々に縮まってきているようです。

(会長)

ふれあいバスの乗車状況で、バス停間の移動についても把握できるのですか。

(事務局)

これまで、バス停での乗降数しか記録されていないので、バス停間の移動実態についてはわかりません。今後、アンケートで捕捉してゆくことになります。

(委員)

イーバスとはどのようなものですか

(事務局)

イーバスは愛称で、旧印旛村の六合路線、宗像路線、印旛学園線の 3 路線があり、市の補助で運行している民間の路線バスです。

(会長)

路線バスについても運行状況がわかる資料を次回にまとめてください。

(事務局)

現在、路線バスを運行している 5 社に運行ルート、ダイヤ等の資料提供をお願いし、すでに各社から資料を得ています。今後、バス事業の展開や利用者の声などについてヒアリングを進めてゆく予定です。

(委員)

バス会社の情報収集の中でキロ当たりの単価、1 台のバスがどの位余裕があるのかなどがわかるので、路線ごとの総走行距離を調べたほうがよいと思う。

(委員)

バス事業者さんがお客を呼び込むための営業努力としてどのようなことを行っているかもヒアリングしてほしいと思う。現状では、運行本数も多くないし、終バスも休日は早いのでニーズに合っていないように思える。

(会長)

ヒアリングの中で意見が聞きだせるように考えてみてください。また本日参加されているバス事業者からのご意見があればお願いします。

(委員)

路線バスのバス停毎にどの位の地域や利用者をカバーしているか調べることはできるのでしょうか。

(事務局)

アンケートの中で最寄りのバス停を把握しますので、サンプル数の問題で細かい数字まで把握できないかもしれませんが何らかの形で整理してみます。

(会長)

調査は大変かもしれませんが、バス停から一定の範囲内の人口を調べることは可能でしょうか。

(事務局)

住宅地図などで住宅数を集計することはできると思いますが、各世帯の構成人数まで含めて調べるのは、作業的にできるかどうか難しいところです。

(会長)

作業的にできる範囲で対応していただきたいと思います。

(会長)

バス停から一定の範囲内における65歳以上の人口を調べることは可能か。

(事務局)

検討させていただきたいと思います。

(委員)

市全体で見れば高齢化率は低くなっているが地域差があります。ニュータウン地域は低いですが、木下などは高くなっています。そのあたりを勘案しながらイ

メージしてバスの運行を考えていただけるとよいと思います。ふれあいバスも高齢者の方が多く利用しています。

(事務局)

高齢者の地域分布を考慮していきたいと考えます。

【議題】（３）アンケート調査について

(会長)

つづきまして、議題（３）アンケート調査について説明をお願いします。

(事務局より、資料３によりアンケート調査について説明)

(会長)

ただ今、アンケート調査について説明がありました。まだイメージの段階だと思いますが、ご質問等がありますでしょうか。

(委員)

主な目的地ですが、成田市より佐倉市の方が重要な気がするのですが。

(事務局)

移動実態を把握する上で地域の区分は非常に重要なポイントだと認識しています。現在、地区割りを市の方と検討中です。

(委員)

ふれあいバスは日・祭日は運行していません。路線バスとの運行の違いがありますので、そのようなことを考慮してアンケートの質問をしてほしい。

例えば、ふれあいバスについて、運行の希望時間を把握できる設問をつくるとか。

(事務局)

ふれあいバスと路線バスのちがいがでるような設問を、設問数を多くしないような工夫をしながら考えていきたいと思います。

(委員)

アンケートで、現状のサービス水準とかけはなれた高いサービス水準を想定した質問をすると、それが実現できるものと勘違いをしてしまい、結果的にそれが実現できないとなると、そのギャップがマイナス効果になってしまうのではないかと思う。

(事務局)

現在進めている、現況把握の結果に留意して設問内容と選択肢を考えていきます。

(委員)

アンケート調査から新たな公共交通サービスに対するニーズをどのように把握しようと考えているかイメージを教えてください。

(事務局) .

新しい公共交通について、例えばデマンド交通等が言われておりますが、アンケートの中で新しい公共交通のことを聞いてもなかなか理解されない可能性が高いことから、今のところ、その内容を直接的に示したアンケートは考えていません。利用される方が運行間隔などのサービスの水準をどのくらいまで求めているかを調査し、それに適合する新しいサービスはどのようなものを整理していきたいと考えています。

(委員)

路線バスとふれあいバスとは違うので、アンケートを分けて調査したほうが良いと思われます。

(事務局)

貴重な意見と考えるので、分けるべき設問は分ける等、アンケート調査検討の際に留意していきたいと思います。

(委員)

設問の中でバス停の距離を聞く場合でも、コストとの関わりも把握できるのでしょうか。

(事務局)

トータルサービスの対価になるので、実証運行実験時に、具体的にこういうサービスの場合、いくらまで支払えますかと聞くかたちになると考えます。

(会長)

他に、ご質問等がございますか。資料 1, 2 に戻っていただいても結構です。

(委員)

アンケートの目的地についてはもう少し具体的に市役所・公民館などを入れ

たほうが高齢者にとってわかりやすいので良いと思います。

もう一点、酔っ払い運転の関係で、21:00～22:30 位までは何本ほしいかなど具体的な書き方でできれば良いと思う。酔っ払い運転防止のための何かバス運行項目が入れられますか。

(事務局)

自由回答を設けますので、公共交通を利用したい理由としてそちらに書いていただけるように工夫してゆきます。アンケート配布時には、アンケートの回答例を添付する予定なので、回答例を使う等して工夫していきたいと思います。

(会長)

公共交通の事業者ヒアリングで鉄道事業者にダイヤの関係でバスをどのように接続したらよいかなど調査できないのでしょうか。

(事務局)

調査については、バス事業者、タクシー事業者を中心に考えております。鉄道ダイヤそのものを変えることは難しいと考えます。接続の問題とか新しい公共交通を実施した場合に駅前に乗り入れて問題あるのかなどの確認は必要になると思います。

(会長)

バスと鉄道の接続に関しては、鉄道ダイヤは固定されているから、それを見れば、客観的にわかるということですね。

(事務局)

バスと鉄道の接続の問題については、アンケート調査の中で、バス利用者の意見から把握できると考えています。例えば「駅に着いたけどバスを待たなければならない」というような意見です。

(会長)

それでは、本日委員の皆様からいただいた意見等を踏まえ、次回の会議において、具体的な質問項目等について提示させていただき、委員の皆さまからご意見をいただいた後、アンケートを実施させていただきたいと思います。

また、本日の内容について後でお気づきの点などありましたら、なるべく早めに事務局のほうにご連絡いただけるよう、よろしくお願いいたします。

以上で、本日の議事については、すべて終了しました。議事進行にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

続きまして、「その他」でございますが、事務局から何かありますか。

(事務局)

特にありません。

(会長)

それでは、ここで議長の任をおろさせていただきます。ありがとうございます。
した。

(事務局進行)

ありがとうございました。

本日予定しておりました、すべての案件が終了しました。

今回は8月下旬を予定しております。アンケート内容などにつきましてお気づきの点などありましたら、なるべく早めに事務局のほうにご連絡いただけるよう、よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、「平成22年第3回印西市地域公共交通活性化協議会」を終了いたします。

長時間にわたり、ありがとうございました。

平成22年第3回印西市地域公共交通活性化協議会議の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

平成22年 8 月25 日

印西市地域公共交通活性化協議会

委 員

上條公司